

カナダ金融政策（2023年3月）

昨年1月以来の政策金利据え置き

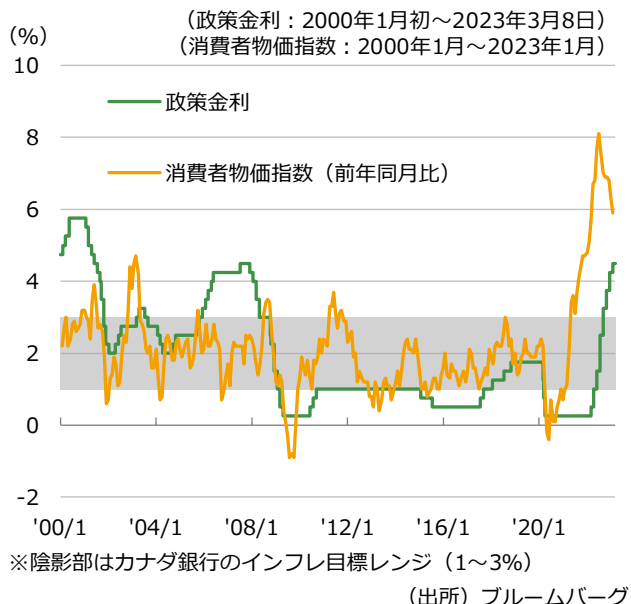
2023年3月9日

今後も政策金利を据え置き、インフレ沈静化を待つ時間が続く見込み

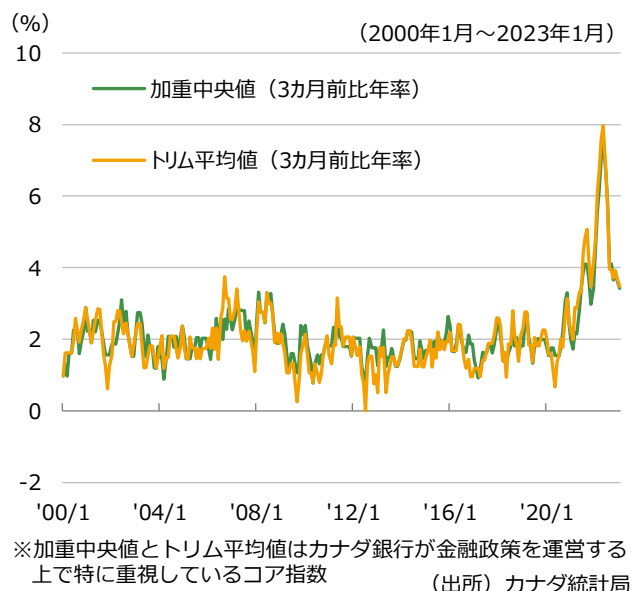
カナダ銀行（中央銀行）は3月8日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.5%に据え置くことを決定しました。

同行は前回1月25日に8会合連続となる利上げを決定すると同時に、経済動向がおおむね見通しに沿って推移することを条件として、利上げを停止する方針を示していました。その後に発表された1月雇用統計は市場予想を上回る強い結果となり、今回の声明文では「依然として労働市場はかなりひっ迫している」、「雇用の伸びは驚くほど強かった」との認識が示されました。一方、10-12月期実質GDPが下振れたこともあってか、前回まで記載されていた「経済は需要超過の状態にある」との文言がなくなっており、景気過熱への懸念は和らいだと解釈できます。また、1月CPI（消費者物価指数）は前年同月比5.9%（12月は6.3%）と市場予想の6.1%を下回ったほか、同行が特に重視しているコアCPI（加重中央値とトリム平均値）の3カ月前比年率も各3.4%（12月は3.6%）と3.5%（12月は3.7%）に低下しました。このように前回以降に発表された経済指標は強弱まちまちでしたが、おおむね前回時点の見通しに沿っているとの評価で、CPIの前年比が今年半ばに3%程度へ鈍化するとの予想も維持されています。声明文の終盤に「インフレ率を目標の2%に戻すために必要であれば更に利上げする用意がある」との但し書きは残っていますが、引き締めの金融政策の下でインフレ再加速のリスクは小さく、利上げの必要性は高まりづらいでしょう。

カナダの政策金利と消費者物価指数



カナダのコア消費者物価指数



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management